

「ITふれあいカフェin肝付町」 の取り組みについて

2021年3月23日

鹿児島県肝付町
ICT推進室長 松岡遼太郎



肝付町の概要

やぶさめと、ロケットの町



鹿児島県肝属郡肝付町

(きもつきぐん きもつきちょう)

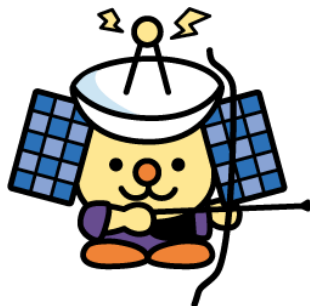
面積 : 308.10km² (23区の半分くらい)

人口 : 14,856人 (住基台帳ベース・2020年末現在)

人口密度 : 50.8人/km²

平成17年7月、旧高山町と旧内之浦町の合併により誕生。

サツマイモ等の土地利用型農業や畜産、漁業等の第一次産業が基幹産業。



町キャラクター
「いて丸」



高山
やぶさめ祭



JAXA内之浦
宇宙空間観測所

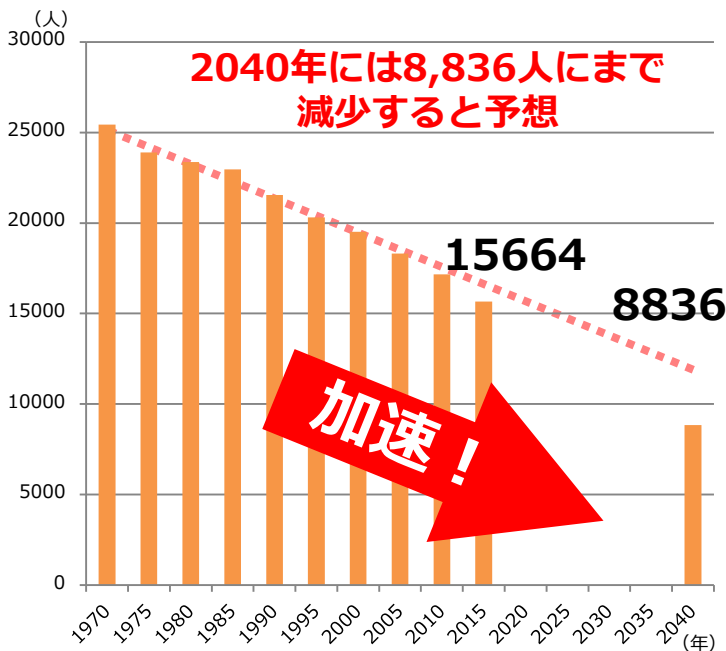


少子高齢化、人口減少の急激な進行

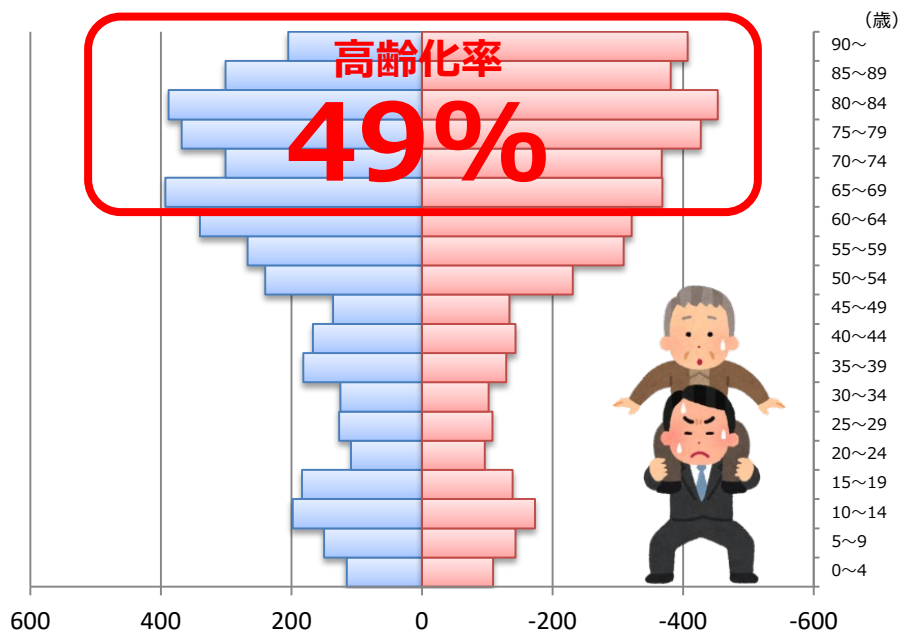
- 20年で半減という急速な人口減少と、その半数が65歳以上という極端な高齢化に対し、付随して発生する課題への対処を続けていく結果、地域社会の疲弊は加速度的に進行し、もはや「**肝付町**」を維持できなくなる可能性が高い。
- 地域社会を持続的に維持・発展させるためには、不足する労働力を補い、多発する課題に対処するために、**ICTの利活用が必要不可欠！**



肝付町（に相当する地域）の人口推移



2040年の肝付町人口ピラミッド（推計）



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30（2018）年推計）から

ICTインフラ整備

- 平成23年度、地域情報インフラとして**町内全域（全集落）に光ケーブル整備（総延長306km）**。NTT西日本（株）にIRU方式^(※)で貸与することによって、**ブロードバンド・ゼロ地域が解消**。町行政イントラ、地デジ難視再送信、携帯電話基地局バックホール回線としても活用中。
- 平成28年度には防災・観光拠点など23ヶ所・36基の**無料Wi-Fi**アクセスポイントを整備。令和2年度には設置個所を追加。平常時は**地域住民や観光客**が利用し、災害時には**避難住民の連絡手段**として開放。

肝付町光ファイバー開通記念式典の様子



※IRU契約：“indefeasible right of user” 電気通信事業法上、電気通信事業の用に供する電気通信回線設備を賃貸借する際に求められる、長期安定した契約のこと。

ITふれあいカフェin肝付町

- ・整備したインフラの利活用を進める継続的な受け皿組織として、平成23年度に**NPO法人「きもつき情報化推進センター」**が設立。
- ・町やNPO法人、携帯電話ショップが協力して、平成26年度から、町内の公民館等各所で**デジタル活用無料相談会「ITふれあいカフェin肝付町」**を毎週開催。スマートフォンの操作方法やパソコンを利用している中での困りごと、マイナンバーカードによる「マイナポイント」の設定補助等、ICTに関するよろず相談会を住民に対して実施。
- ・開催日以外にもNPOの窓口や電話にて、相談業務を実施。

【講師】

NPO法人きもつき情報化推進センター
携帯電話ショップ

【対象者】

町民どなたでも参加可能

【受講料】

無料

【場所】

町内3箇所（公民館等）

【回数】

基本講座9回、応用講座13回
各講座14：00～16：00

ITふれあいカフェ in 肝付町
スマートフォンなどのITなんでも

無料相談会

ITふれあいカフェとは？
スマートフォンやタブレットなどの困りごとや悩みをなんでも相談できます。相談と合わせて基礎講座はスマホの基本的な使い方、応用講座は知っていると便利な使い方についてご紹介します。開催は一度だけではなく、何度も繰り返し行いますので、いつでも参加できます。資料もお越しください。

開催場所
高山会 場：町民集会所 隣の車
内之浦会 場：鶴河アリーナ
岸良会 場：岸良公民館

開催時間
いずれの講座も
午後2時～午後4時（2時間）

よくあるご相談はこちら！

- ・スマートフォンの設定
- ・LINEなどのアプリの使い方
- ・格安なスマホの選び方
- ・知っておくと便利な小技
- ・等身の写真方法
- ・キャッシュレス決済の方法
- ・アップデートのお手伝い など

基本講座（火曜日）
10月13日・27日
11月10日・24日
12月8日・22日
1月12日・26日
2月9日

応用講座（木曜日）
10月8日・22日
11月5日・19日
12月3日・17日
1月10日・24日
2月7日・21日
3月14日・28日

※参加費は無料です。
※申し込みは必要ありません。

0994(68)8550



今後の「ITふれあいカフェ」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- これまでの取り組みで、高齢者等を中心として「スマートフォン」の使い方について「困っていない方」は、**ほぼいない**ことがよくわかってきた。引き続き事業を実施する重要性を再認識しているところ。
- また、カフェ形式をとることにより、単なる「高齢者デジタル教室」ではなく「**世代間交流の場**」「**相互の共感の場**」として参加者から評価されている。
- 来年度以降は、**地域の若者^(※)の参加**呼びかけや、**開催スケジュールの充実**、類似事業を実施する**近隣市町村との情報交換**を実施予定。
- また、マイナンバーカードによる行政のデジタル化やキャッシュレス決済等、実際にスマートフォン等でデジタル技術の**便利さを体感**する場を創出していきたい。

※県立楠井中学高校一貫校や国立鹿屋体育大学の学生等

